

<訂正とお詫び>

下記の箇所に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

ページ	行	訂正
P004	19 行目 (タイトル除く)	(誤) <u>株式会社イワタ活字の活版部門</u> 廃業時 → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> 廃業時
P005	21 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字の活版部門</u> 廃業時 → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> 廃業時
	24~25 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> との → (正) <u>株式会社岩田母型製造所</u> との
	28 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> との → (正) <u>株式会社岩田母型製造所</u> との
P008	9 行目	(誤) <u>工房開設当初の株式会社岩田母型製造所時代から連携協力関係のあった株式会社イワタ活字</u> であった。 → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> であった。
	11 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> への → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> への
	14 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> に注文 → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> に注文
	15 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字活版工場</u> へ取りに → (正) <u>イワタ活字販売株式会社大森工場</u> へ取りに
	18~19 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字の活版部門</u> 廃業が → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> の廃業が
	21 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> 所蔵の → (正) <u>株式会社岩田母型製造所</u> 所蔵の
P009	10~11 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> 社員技術者 → (正) <u>株式会社岩田母型製造所</u> 社員技術者
P011	29 行目	(誤) <u>岩田母型製造所</u> → (正) <u>岩田母型製造所</u>
P012	11 行目	(誤) <u>羽良太平吉氏</u> → (正) <u>羽良多平吉氏</u>
P014	左 3 行目 (タイトル除く)	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> において → (正) <u>株式会社岩田母型製造所</u> において
	右 5 行目	(誤) <u>母型/父型/活字</u> → (正) <u>母型/活字および父型の一部</u> (父型は 2011 年高内一氏より寄託)
	右 8 行目	(誤) 平成 25 (2014) 年 → (正) 平成 25 (2013) 年
P015	左 11 行目	(誤) <u>株式会社イワタ</u> から → (正) <u>株式会社岩田母型製造所</u> の <u>岩田百蔵氏</u> から
	左 26 行目	(誤) <u>元株式会社イワタ活字</u> 関係者 → (正) <u>元岩田母型製造所</u> 関係者
	左 35~36 行目	(誤) 平成 25 (2014) 年 → (正) 平成 25 (2013) 年
P016	左 25 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> → (正) <u>岩田母型製造所</u>
P021	左 14 行目	(誤) <u>元株式会社イワタ活字</u> 関係者 → (正) <u>元岩田母型製造所</u> 関係者
	左 14~15 行目	(誤) <u>故岩田百蔵氏自伝</u> 等より → (正) <u>岩田百蔵回顧録</u> 等の記録より
	左 28 行目	(誤) <u>凸版株式会社印刷博物館</u> → (正) <u>凸版印刷株式会社印刷博物館</u>
	左 33 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> より → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> より
	左 33~34 行目	(誤) <u>父型母型活字</u> 購入所蔵 → (正) <u>母型活字</u> 購入所蔵
	35 行目	(誤) <u>株式会社イワタ活字</u> → (正) <u>イワタ活字販売株式会社</u> ※元は株式会社岩田母型製造所の資産であるが、当時休業していたため、便宜上イワタ活字販売株式会社の名義で取引した。
P024	右 6~7 行目	(誤) <u>高岡重蔵氏、昌生氏</u> には、 → (正) <u>高岡重蔵氏、高岡昌生氏</u> には、
P028	右 17 行目	(誤) <u>岩田母型製造所</u> で铸造した → (正) <u>岩田母型製造所</u> で铸造した
P029	左 3~4 行目	(誤) <u>岩田母型製造所</u> → (正) <u>岩田母型製造所</u>
	左 4~5 行目	(誤) <u>岩田母型製造所</u> → (正) <u>岩田母型製造所</u>
	左 9 行目	(誤) <u>岩田母型製造所</u> → (正) <u>岩田母型製造所</u>

ページ	行	訂正
P031	9行目	(誤)「体」はP055の2行目「體」と新旧対応する文字 → (正)体◀▶體
	9行目	(誤)「余」はP054の12行目「餘」と新旧対応する文字 → (正)余◀▶餘
P032	5行目	(誤)「党」はP055の12行目「黨」と新旧対応する文字 → (正)党◀▶黨
P033	8行目	(誤)「収」はP039の13行目「收」と新旧対応する文字 → (正)収◀▶收
P033	9行目	(誤)「叙」はP040の1行目「敘」と新旧対応する文字 → (正)叙◀▶敘
P034	9行目	(誤)「図」はP034の10行目「圖」と新旧対応する文字 → (正)図◀▶圖
P038	1行目	(誤)「恥」はP048の4行目「耻」と新旧対応する文字 → (正)恥◀▶耻
P042	3行目	(誤)「欠」はP047の12行目「缺」と新旧対応する文字 → (正)欠◀▶缺
	3行目	(誤)「款」はP042の3行目「欸」と新旧対応する文字 → (正)款◀▶欸
P043	10行目	(誤)「潜」はP043の10行目「潛」と新旧対応する文字 → (正)潜◀▶潛
		[補足] P030～P057の清刷一覧は活字があった文字のみの一覧である。 例えばP056の1行目の漢数字「一」、P057の4行目の片仮名「ピ」は活字がないため欠字である。
P073	右4行目	(誤)弘道軒から <u>父型と母型、活字</u> を受け継いだ → (正)弘道軒から <u>父型と母型</u> を受け継いだ
	右35～37行目	(誤) <u>鑄造者が岩田母型製造所であるため、弘道軒が鑄造していた頃から、別サイズに鑄込み直された可能性がある。つまり、字面は弘道軒オリジナルと言えるが、サイズはオリジナルとは言いきれない点に注意が必要である。</u> → (正) <u>高内氏によれば鑄造者が弘道軒から岩田母型製造所</u> <u>に変わっているが、活字サイズは弘道軒が鑄造して</u> <u>いた頃と同じである。これは、混乱を避けるためと、</u> <u>すでに流通していた清朝活字と混植ができるように</u> <u>する意図があったためだという。</u>
P079	左2行目	(誤) <u>[表1] [表2]</u> に掲げる → (正) <u>[表3] [表4]</u> に掲げる
	右18～22行目	(誤) <u>すでに存在している活字を種字としたが、その際に、活字の字面を平滑かつ水平にする作業を行ったという。それによってバラツキがある程度解消されたのであろう。</u> → (正) <u>弘道軒のパンチ母型を使って種字とする活字を鑄造し、字面を平滑かつ艶出する略サラエの作業を行ったという。それによって母型の精度向上に結びついた。</u>
P090	左36行目	(誤) そこに <u>亜鉛</u> をとかしこんで → (正) そこに <u>真鍮</u> をとかしこんで
	図15キャプション	(誤) 表面・裏面を <u>亜鉛</u> で補修した → (正) 表面・裏面を <u>真鍮</u> で補修した
	図16キャプション	(誤) 裏面を <u>亜鉛</u> で補修した → (正) 裏面を <u>真鍮</u> で補修した